

# 日本の住まいを 変えた梶原。 松山を変える。



市民派

自然派

地球派

# 梶原 ときよし

梶原時義を推薦する会

〒790-0813 松山市萱町1丁目6-6  
TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259



## 梶原ときよしのこと

1957年 広島県に生まれる。

四人兄弟の末っ子として育つ。父は戦後ソビエトの捕虜となり、シベリアに抑留されました。また、叔父は広島に原爆が落とされた3日後に救援隊で広島に入り、二次被爆し、白血病で亡くなりました。父や叔父から戦争や原爆の悲惨さを聞いて育ち、広島での22年間で命の大切さと平和への思いを育みました。

1980年 積水ハウス(株)入社 松山支店勤務

2009年8月 高知支店・部長で退職するまで29年間在職。その間、サラリーマン新党とともに消費税違憲訴訟に原告として参加。

1994年 多発するいじめ問題を解決する糸口として、親子の自然なふれあいとコミュニケーションを重視する「リビング階段のある家」を提唱。ハード面を重視する住宅業界に、画期的な住まい方の提案をし、以後積水ハウスだけでなく全国に広める。

この年から南海放送ラジオ番組「山ちゃん、梶ちゃんの納得の住まいづくり」他のパーソナリティを13年間務める等、「仕事を通して社会に貢献する」というテーマを実践してきた。

1998年 サラリーマンをしながら松山市議会選挙に立候補するが落選。

同年より「憲法を読む市民の会」をつくり、毎月学習会を行なう。

1999年から「阿部悦子と市民の広場」のメンバーとなり活動、副代表を経て現在は顧問。

1991年より湯の山に在住。

妻と子ども3人の5人家族。

現住所/松山市湯の山4丁目1-5 TEL・FAX/977-8586

## 「リビング階段」をつくり、 日本の住宅の住まい方を変えた梶原。 今度は「松山の市民生活」を変えていきます。

20年ほど前、愛知県の中学校で「いじめ」を受けた生徒が自殺する事件が起こった。家族は「いじめ」があることに気づけなかった。住宅メーカー大手・積水ハウスの営業マンとして、いろんな家族を見続けてきた梶原は、家族が子どもの「いじめ」に気づけなかったのは、家の間取りも関係があるのではないかと考えた。間取りを変えることで、日々、自然に親子がふれあう住まいにできないか……。それまで子ども部屋のある2階に上がる階段は、玄関付近に設けるのがほとんどで、外から帰ってきた子どもが、家族に顔を会わせることなく自分の部屋に入ることができていた。ここに問題があるのではないかと、そんな発想から思いついたのが、リビングルームに2階への階段を設ける「リビング階段」である。こうすれば、子どもは階段を上下する度に、親と顔を会わす。言葉を交わす機会も増える。家族が子どもの変化に気づきやすい住まいにすることができると。この考え方は積水ハウスはもちろん、他メーカーにも支持され全国に広がり、今や日本の一戸建て住宅のスタンダードプランとなっている。



## 梶原のアイデアが、日本の住宅の住まい方を変え、 家族のコミュニケーションを変えた。

討議資料



松山支店  
承認

723

差出有効期限  
平成22年4月  
30日まで有効

切手不要

790-8790

受取人  
松山市萱町  
1丁目6-6

梶原<sup>ときよし</sup>時義を  
推薦する会 行



## 梶原時義を推薦する会

〒790-0813  
松山市萱町1丁目6-6  
(萱町商店街南 旧三津浜信用金庫)  
TEL 089-947-2258  
FAX 089-947-2259

毎日、開けております  
AM10:00~PM5:00

P 7台分あります。

Email:sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

お気軽にお立ち寄りください。

